

東京都立大学 大学院
経営学研究科 経営学専攻
経済学プログラム

修士（経済学）

MPHC (Master of Economics)
Program

MEc Program Director

プログラムディレクターからのメッセージ



東京都立大学大学院 経営学研究科 教授
経済学プログラム（MEc）ディレクター

岩間 俊彦

近年、公務員やビジネスパーソンの中で「経済学」という学問を真に理解し、その専門性を身につけたいという声を聞きます。これを受けて東京都立大学経営学研究科では、博士前期課程（修士課程）に経済学プログラム（MEc）を2018年に開設しました。従来の学部卒業生や留学生に加えて社会人にもその対象を広げ、主に丸の内サテライトキャンパスで平日夜間および土曜日に講義や演習を行っています。

私たちのスタッフの多くは、これまで学術研究に携わり経済学や経済史に関連する分野の国際学術誌に論文を発表してきた研究者です。社会人を対象とした「学びの場」が東京には多く存在する中で、プログラム開設にあたり、私たちにできることを議論し英国の大学院で聞き取り調査も行いました。経済学プログラムでは、学生に経済学や経済史の学術論文を理解する力を身につけて、経済モデルの作成、データの分析、経済社会の事実の検討等の演習を行い、それらを通して修士論文を作成し指導する、ということを提供します。この一見当たり前と見られる大学院の過程を綿密に追及することによってのみ、国際的な水準の経済学や経済史という高度な専門性が身につけ深く理解できること、そして、それこそ

が経済学や経済史を真に身につけたい人びとに必要である、という見解に私たちは至りました。

経済学プログラムのカリキュラムでは、修士1年前期にコア科目としてミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学あるいは経済史の基本を定着させ、1年後期以降に応用科目の学習や修士論文作成の演習を行う形にしています。授業で用いるテキストや演習は、世界の高度な研究を理解する上で必要だが難解でないか、満足してもらえるか、という不安がありました。しかし、2020年以降に送り出した修了生たちから「勉強は大変だったが、自分たちでは到達できないレベルに到達することができ満足した」という声を聞き、私達の目標や実践に間違いはなかったと自信を深めています。

国際水準の研究を学ぶ場を「公」に開く東京都の大学、都心にあるという立地条件、高度な学術研究に携わってきたスタッフ、少人数教育による丁寧な指導、これまでビジネススクールの高度専門職業人養成プログラムで培ってきた指導の経験と実績、これらの資源を持つ私達と、経済学や経済史を本格的に学びたいという志を持つ皆さんとが結びつき、私達にも皆さんにも、そして社会にとっても良い結果をもたらすと確信しています。

先に述べたように、本プログラムは社会人だけでなく、現在大学で学び、さらに経済学や経済史を深く学びたいと思う大学生にも門戸を開いています。将来ビジネスパーソンや経済の専門家としての活躍を望む大学生にとっても、当プログラムに進学して得られる経済学や経済史の専門知識や現役の社会人とともに学んだ経験は将来の大きな糧になると我々は考えています。

学ぶ熱意のある皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

特長● Characteristics

東京都が 設置する大学院

東京都が設置する公立大学「東京都立大学」の大学院です。都民の方は入学金が半額となります。

丸の内に立地、 夜間に開講

社会人が学びやすいように、講義は主に平日の夜間と土曜日に開講され、働きながら学べます。

高い専門性の教員—— 国際水準の 論文を発表

スタッフは国際学術誌に論文を公刊している高い専門性を持つ教員です。

近代経済学と 歴史からの 2つのアプローチ

数理モデルを使った分析を中心とする経済学プロジェクトは理系を含む多彩な人材を受け入れます。また経済史プロジェクトの教員が豊富なことも特長です。

少人数教育—— 演習と 論文執筆が中心

少数の入学者に対して専任教員の丁寧な講義と演習が行われ、細やかな指導で修士論文の制作を行います。

他のプログラム との連携—— 豊富なカリキュラム

経営学プログラム(MBA)、ファイナンスプログラム(MF)と連携し、さまざまな科目を履修することが可能です。

既設の MBA からのノウハウ

2003年に開設されたMBAプログラムからの10年以上のノウハウを引き継ぎ、社会人のための教育に向けてさまざまな工夫がなされています。

博士後期課程 への進学

経営学研究科経営学専攻の博士課程へ進学すれば、さらに高度な研究と博士号取得への道が広がります(入学試験があります)。

Project and Curriculum ●プロジェクトとカリキュラム

経済学プログラムに入学した学生は入学時に「経済学」「経済史」の2つの教育研究プロジェクトから1つを選択し、体系的に授業を履修します。

経済学	ミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学を基礎にして、経済現象の理論分析、もしくは実証分析を行います。
経済史	歴史的事実の考察・分析や研究史の整理・批判をもとにして、経済現象を解明します。

1 年前期

経済学プロジェクトではマクロ経済学・ミクロ経済学・計量経済学を、経済史プロジェクトでは経済史概論・日本経済史を、それぞれコア科目と呼びます。1年前期は、このコア科目を学び、演習による徹底した理解を目標とします。経済学プロジェクトのコア科目に必要な数学は、入学前の MathCamp や同時開講の経済数学で学べます。また、経済学初学者のためのマクロ経済学概論・ミクロ経済学概論もあります。

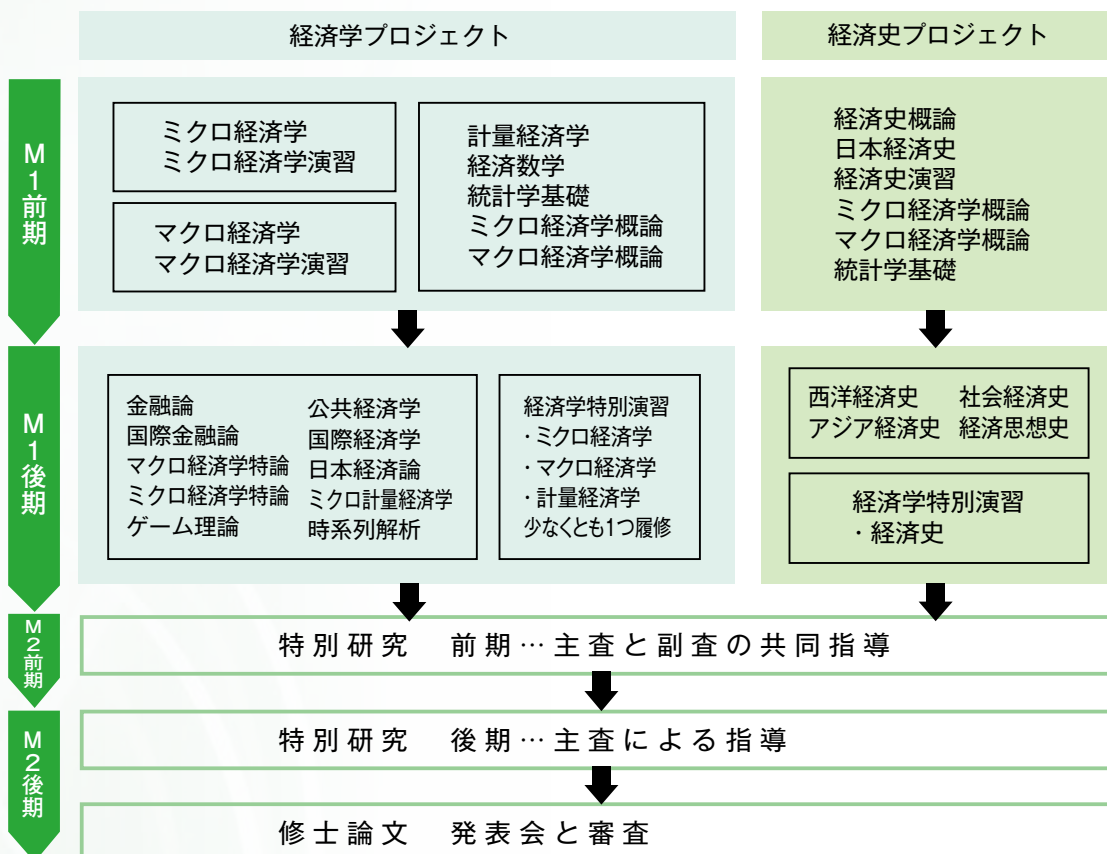
1 年後期

1年後期では、両プロジェクト共に経済学特別演習という少人数の演習を行います。学術論文を読んで発表し、それらの論文を応用した理論モデルの作成や経済データ分析などを行います。また、前期のコア科目を基礎として、経済学の様々な応用科目を履修します。

2 年

2年次は主に修士論文の制作に取り掛かります。前期までは主査と副査の共同指導により、広い視点からのアドバイスを受けます。後期は、主査による指導で集中的に論文を仕上げます。修士論文の発表会と審査を経て、学位を取得します。

経済学プログラム カリキュラムツリー



施設●Facilities



講義室 F



PC 教室



図書コーナー



共有スペース

授業開講時間

丸の内サテライトキャンパスでは平日夜間と土曜日に開講しています。

月～金 5時限……18:20～19:50
6時限……20:00～21:30

土 1時限……10:30～12:00
2時限……13:00～14:30
3時限……14:40～16:10
4時限……16:20～17:50

PC 教室

定評のある統計解析・数式処理およびデータマイニングのソフトを揃えた PC が準備されており、講義や自習に活用できます。また、日経 NEEDS Financial Quest などの経済・金融・企業財務に関するデータベースも利用可能です。

図書室利用

各講義に用いられるテキスト・参考文献を中心とした和洋専門書のほか、国内外の多数のジャーナルが開架されています。本学南大沢キャンパスおよび他大学所蔵の文献についても、貸出申し込みを行うことができます。そのほか、図書室では EBSCOhost (Business Source Elite)、Science Direct、Wiley Online Library、Web of Science などの各種オンライン・ジャーナルやデータベースが利用可能です。

膨大な学術文献を検索、閲覧、ダウンロードして研究をすすめることができます。

Faculty Member ●教員紹介（2024 年 4 月現在）

教員氏名・主な担当講義	研究教育内容と主な論文・近年の著作など
教授 飯村 卓也 ●ミクロ経済学 ●ミクロ経済学特論	需要理論、一般均衡理論、ゲーム理論などに現れる種々の均衡の性質等について研究しています。 (論文) A study on the demand and response correspondences in the presence of indivisibilities, (with Z. Yang), <i>Journal of Fixed Point Theory and Applications</i> , Vol.6, No.2, pp.333-349, 2009; Unilaterally competitive games with more than two players, <i>International Journal of Game Theory</i> , Vol. 49, pp.681-697, 2020.
教授 暮石 渉 ●計量経済学 ●ミクロ計量経済学	社会保障、家計や家族について実証分析を行っています。家族形成（結婚・離婚、出生）や教育について興味があります。 (論文) Time Preferences over the Life Cycle and Household Saving Puzzles (with Hannah Paule-Paludkiewicz, Hitoshi Tsujiyama, Midori Wakabayashi), <i>Journal of Monetary Economics</i> , Vol. 124, 123-139, 2021.
教授 田中 敬一 ●経済数学	確率解析を応用した期間構造モデル・固有関数展開による漸近展開等のファイナンス分野の研究を行っています。 (論文) A Multi-Quality Model of Interest Rates, (with Masaaki Kijima and Tony Wong), <i>Quantitative Finance</i> , Vol. 9 No. 2, pp. 133-145, 2009; An eigenfunction expansion approach for the derivation of asymptotic expansions in financial valuation problems, (with Manabu Miyamoto), <i>JSLAM Letters</i> , Vol.14 pp.25-28, 2022.
教授 松岡 多利思 ●マクロ経済学 ●金融論	貨幣理論や銀行理論を中心に研究しています。 (論文) Financial Contagion in a Two-Country Model, <i>Journal of Money, Credit and Banking</i> , Vol. 54, No. 7, pp. 2149-2172, 2022. Asset Prices and Standing Facilities in a Monetary Economy, <i>Journal of Economic Dynamics and Control</i> , 135 (February 2022): 104302
教授 脇田 成 ^(*) ●マクロ経済学特論	マクロ経済の長期停滞と賃金設定の関係について研究しています。 (論文) 日本の二部料金的賃金設定ルールー名目賃金上昇の条件ー, 経済分析, 第 191 号, pp. 10-34, 2016.
教授 渡辺 隆裕 ●ゲーム理論	ゲーム理論が専門です。最近は有限戦略集合のゲームの純粋戦略均衡の存在条件について研究しています。 (論文) A Choice of Auction Format in Seller Cheating: A Signaling Game Analysis, (with Takehiko Yamato), <i>Economic Theory</i> , Vol. 36 No.1, pp. 57-80, 2008.
准教授 荒戸 寛樹 ●マクロ経済学 ●国際金融論	マクロ経済学と情報の経済学について、理論研究やシミュレーションを行っています。最近は銀行行動にも興味を持っています。 (論文) Japan's Intangible Capital and Valuation of Corporations in a Neoclassical Framework, (with Katsunori Yamada), <i>Review of Economic Dynamics</i> , Vol. 15 No.4, pp. 459-478, 2012.
准教授 小方 浩明 ●時系列解析	数理統計学、特に時系列解析、方向統計学、コピュラ、経験尤度法に興味があります。 (論文) Models for circular data from time series spectra, (with Taniguchi, M., Kato, S. and Pewsey, A.), <i>Journal of Time Series Analysis</i> , Vol. 41, Issue 6, pp. 808-829, 2020.
准教授 白 映旻 ●国際経済学	国際生産ネットワークまたはGVC(Global Value Chain)分野における貿易理論の現実妥当性を計量分析手法を用いて、研究しています。 (論文) Impacts of firm's GVC participation on productivity: A case of Japanese firms, (with Shujiro Urata), <i>Journal of the Japanese and International Economies</i> , 66(101232), 2022.
准教授 森本 脩平 ●ミクロ経済学 ●公共経済学	望ましい制度の設計について検討するメカニズムデザインや社会的選択理論の研究を行っています。 (論文) Strategy-proofness and efficiency with non-quasi-linear preferences: A characterization of minimum price Walrasian rule, (with Shigehiro Serizawa), <i>Theoretical Economics</i> , Vol. 10 No. 2, pp. 445-487, 2015.

(*)1 脇田教授は2025年度にサバティカルのため講義はありません。

教員氏名・主な担当講義		研究教育内容と主な論文・近年の著作など
経済史プロジェクト	教授 岩間 俊彦 ●社会経済史	近現代イギリスの都市、階級、組織について、史料分析だけでなく、世界史的視野で研究を進めています。 (論文) Shaping Civic Culture through Public Discussion: The Debating Societies of Birmingham, c. 1850 - c. 1890, <i>Midland History</i> , Vol. 41 No. 1, pp. 57-70, 2016.
	准教授 井澤 龍 ●西洋経済史	歴史的アプローチにもとづき国際課税と多国籍企業の関係について研究をしています。 (論文) Corporate structural change for tax avoidance: British multinational enterprises and international double taxation between the First and Second World Wars, <i>Business History</i> , Vol. 64 No. 4, pp. 704-726, 2022.
	准教授 金子 創 ●経済思想史	経済学や経済思想の歴史、とりわけアダム・スミスよりも前の時代の言説について研究しています。 (論文) カンティロンとチュルゴ, 経済学史研究, 56 巻 1 号, pp. 71-88, 2014; On the Existence and Characterization of Unequal Exchange in the Free Trade Equilibrium, (with Naoki Yoshihara), <i>Metroeconomica</i> , Vol. 67 Issue 2, pp. 210-241, 2016.
	准教授 小林 延人 ●日本経済史	実証史学の立場から、幕末維新期の日本経済、とりわけ貨幣流通や商家経営について研究しています。 (著書) 『明治維新期の貨幣経済』東京大学出版会、2015.
	准教授 竹内 祐介 ●アジア経済史	戦前日本の植民地経済や復興期・高度成長期の日本・東アジアの鉄道・海運について研究しています。 (著書) 『帝国日本と鉄道輸送』吉川弘文館、2020. (受賞) 政治経済学・経済史学会賞 (2021 年)

修了生の声●

From Alumnae and Alumni

藤田 隼平 | 経済学プログラム (MEc) ・2020 年度入学
民間系シンクタンク勤務(執筆当時)

大学院レベルの経済学を学ぶ

現在、私はマクロ経済の調査・分析を行ういわゆる「エコノミスト」の業務に従事しています。他大学院で経済学の修士号を取得していましたが、社会人として経験を積むにつれて日本経済が直面している長期停滞や政府債務の増加といった課題に対して関心が高まり、改めて最新の経済学の知見を得るべく進学を希望しました。

MEc の経済学プロジェクトでは、1年目の前期にコースワークとして大学院レベルのミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学をコア科目として学ぶとともに、それらの学習に必要な経済数学や統計学の知識も基礎からしっかりと身に付けられるようなカリキュラムが用意されています。以前にアカデミックなトレーニングを受けてから時間が経っていたため、授業についていけるか不安でしたが、考え抜かれた授業内容や少人数教育による質問のしやすい環境にも支えられて、経済学の知識を無理なくブラッシュアップすることができました。また、コロナ禍の下、授業は基本的に対面ではなくオンライン形式で行われましたが、個人的には不都合を感じないばかりか、むしろ通学時間が無いことが仕事と学びの両立にはプラスに働いたと思います。

興味・関心と最新のトレンドを踏まえた研究指導

MEc における最終目標は修士論文の執筆です。1年目の後期に行われる経済学特別演習のうち、私はマクロ経済学と計量経済学の2つの演習に参加し、コースワークから一歩進んだ内容の学びや、興味・関心のある分野の先行研究のサーベイ・レビュー等を通じて、修士論文執筆の基礎となる能力を身に付けることができました。また、2年目の本格的な修士論文の研究指導では、主査・副査の先生方から丁寧かつ熱心なご指導をいただき、慣れない統計ソフトの利用に苦戦しながらも、最終的には修士論文を形にすることができました。改善点の多い内容ではありましたが、興味・関心のあるテーマについて最新の知見をもとにした分析ができたのは、間違いなく MEc だからだと思います。今後は、学んだことを普段の業務に生かすとともに、博士課程への進学を視野に修士論文で行った分析の発展・拡充にも取り組んでいきたいと考えています。

Entrance Examination

— 入試関連情報 —

詳細については、必ず公式の募集要項でご確認ください。

■ 募集定員

経営学専攻 50 名（経営学プログラム・経済学プログラム・ファイナンスプログラムの合計）
経済学プログラムでは 10 名程度を予定しています。

■ 選抜方法

- ▶ 選抜は 9 月と 2 月に実施を予定しています。
- ▶ 選抜は、提出された書類（TOEFL/TOEIC/IELTS の英語成績を含む）と学力試験（筆答試験、口頭試験）の結果により総合的に判断し決定します。
 - ・ 日本語を母語としない方は、日本国際教育支援協会による日本語能力試験（JLPT）の N1 の認定を受けている必要があります（旧試験の 1 級の認定を含む）。
 - ・ 英語を母語としない方は、英語外部試験（TOEFL、TOEIC、または IELTS）のスコアレポートの提出が必要です。英語を母語とする方については、英語外部試験のスコアレポートの提出は不要です。
- ▶ 筆答試験には、試験日に受験会場で受験する科目試験と、経済学検定試験などの事前に受験しておく外部試験があり、それらからひとつ以上の試験を受験することが必要です。
- ▶ 経済学プロジェクトの受験者は、科目試験では「数学」を受験すること、また、外部試験では「統計検定」（2 級以上）および「経済学検定試験」（B+ 以上）の結果を提出すること、がそれぞれ必要です。
- ▶ 経済史プロジェクトの受験者は、科目試験では「経済史」を受験すること、また、外部試験では「経済学検定試験」（B+ 以上）の結果を提出すること、がそれぞれ必要です。

■ 納付金等（予定額）

入学科：東京都の住民…………… 141,000 円

その他の者…………… 282,000 円

授業料（年額）…………… 520,800 円



AccessMap

東京都立大学 丸の内サテライトキャンパス

東京都千代田区丸の内 1-4-1
丸の内永楽ビルディング 18 階
TEL. 03-6268-0521



入試関係のお問い合わせ先

東京都立大学管理部 | 文系学務課 経済経営学部教務係

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

TEL.042-677-1111（内線 1715、1716）

入試関連等の情報は、ホームページにて随時更新して参ります。

<https://www.biz.tmu.ac.jp>

スマートフォン・タブレット
の方はコチラから

